

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【校長先生による 道徳】</p>	<p>校長先生が、自作資料を準備し、道徳の授業を全学級で行った。 1回目は、いじめを解決した実話の資料をもとに、人は、いじめる側にもいじめられる側にも、そして傍観者にもなり得るが、助けたり解決したりする側にもなれることに気付き、今後どんな自分になりたいか、自分と向き合い、考えを深めた授業だった。 2回目は、SDGsを意識した生活を心がけ、豊かな自然を守っていこうという気持ちを高める授業であった。 3回目には、SNSをテーマにした授業を予定している。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>全職員が授業参観を行い、研修することができた。 導入⇒自分の考え⇒展開⇒自分の考え⇒話し合い⇒自分に戻り、考えを広げる・深める⇒まとめ⇒振り返りの学習の流れを通し、子ども一人一人が他の意見を聞き入れながら考えを深める姿が印象的であった。「校長先生の道徳がある」事が定着し、子どもたちの中に、道徳の授業を楽しみに待つ姿が見られた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>今年度は、校長先生の道徳を年間の計画に入れなくて飛び込みで授業を行う形となってしまったため、その道徳を次に生かす、または深めることが中途半端になってしまった感がある。マネジメントの段階で、計画的に取り入れることが必要だと感じた。</p>
<p>2 実践2 【性的マイノリティへの理解を 深める授業】</p>	<p>性的マイノリティ当事者による講演動画について、教員は教員向け動画による個人研修、生徒は児童生徒向け動画を全学年ともに視聴し、その理解を深めた。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>教職員も生徒も各個人が性的マイノリティへの理解を深め、各個人で意識を広げ、当事者の気持ちになって考えることができた。また、社会全体を見て、例えば、学校現場にも、もっと「みんなのトイレ」などの施設があると良い、などの意見をもつことができた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>各個人の理解は深まり、広がったと感じるが、マネジメントが上手くいかなかった、時間がなく、それらを学級、学年、職員全体で話し合い共有したり、意見を交換したりする場を設けることができなかった。</p>